一般社団法人
長崎青年協会
平成29年
2月号

一般社団法人
長崎青年協会 憲章

我々は会員の団結と
相互扶助の精神の基に
自己の建設と
会員の親睦を図り
もって地域社会の発展に
寄与する事を目的とする

2～3月行事予定

2月19日	新人事業（西山台小学校）
2月22日	臨時総会・定時例会（出島交流会館）
2月26日	啓発事業（九州電力玄海原子力発電所見学）
3月17日	定時例会・卒業生を送る夕べ（サンプリエール）

長崎青年協会
現役会員数
54名
平成29年2月現在

平成28年度スローガン

NO ATTACK NO CHANCE

～自ら行動して、チャンスをつかもう～

会長挨拶

第48期会長
宮口　智行

まだまだ厳しい寒さが続いておりますが、皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

気温の寒暖差が激しく体調管理が難しい時期かと思います。インフルエンザが流行し１医療機関当たりの患者数が「警戒レベル」の３０人を上回り、幼稚園や小学校で学級閉鎖や休校などの措置を取った学校が全国で７０００施設以上になっております。外出後の手洗い等を徹底して気を付けて行きましょう。

さて、先月の１月２９日には長崎ランタンフェスティバルのイベントの一つである「媽祖行列」に会員の皆さんと一緒に参加させて頂きました。媽祖行列とは江戸時代、長崎に入港した唐船の乗組員たちが実際に行っていた行列です。航海安全の神とされる媽祖様を唐人屋敷の天后堂や興福寺の媽祖堂に安置するまでの行列を再現しています。私は荷主を務め、媽祖様を無事に興福寺の媽祖堂に安置させて頂きました。緊張しましたが沢山の関係者の皆様と供に大役を果たす事が出来た事は一生の思い出となりました。ありがとうございます。

今年度も残り２か月です。２月も新人事業、啓発事業と楽しみな事業が続いて行きます。会員の皆様は次年度の活動も同時進行で行う時期でもあります。非常に大変だとは思いますが、皆で力を合わせ頑張り楽しみましょう！！

会員拡大委員会（平井委員長）より

新入会員のご紹介をお願いします！熱い仲間がここにいます！

㈱ＡＢＣ不動産
浜町店 TEL816-3232
長崎駅前店 TEL811-3232
長崎大学前 TEL849-3232
「青年協会会報誌を見た」で、仲介手数料10%割引致します
OB 松本貞臣

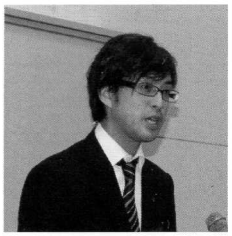
印刷・自費出版・画廊
絵画・ポストカード・本・額装【展示販売】
有限会社 タイピント印刷
〒850-0034 長崎市樺島町9-15
TEL825-4777・FAX825-2340
mail:typintg4@proof.ocn.ne.jp
OB 山口稔之

ご先祖に永遠の安らぎを
有限会社 桂石材
墓碑・墓地・戒名彫込・施工販売
市内各所墓地紹介いたします
〒851-2127 長崎県西彼杵郡長与町高田郷425-3
TEL.095-856-4094 FAX.095-856-7533
OB 桂 雄剛

有限会社
K&Aビルメンテナンス
〒850-0036
長崎市五島町5－36
TEL 095-829-3132
FAX 095-829-3168
会員 宮口智行

J-net Rent@Car
Jネットレンタカー
長崎市宝町3－20
TEL095-818-7400 FAX095-818-8400
OB 松下道
会員 鳥辺達也

1月定時例会（新興善メモリアルホール）



１月２０日（金）、新興善メモリアルホールで１月定時例会が開催された。

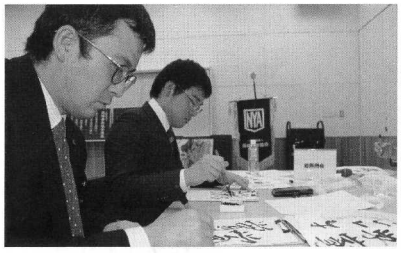
橋本専務理事より「今年度も残りわずかであり、残っている事業については担当でない委員会もバックアップしていただきたい。事故等の無いよう、気を引き締めて今年度を締めくくっていただきたい」との挨拶があった。引き続いて委員会報告が行われ、各委員会から以下の報告があった。

総務例会委員会：講師講演の案内、２月の総会及び３月の送る夕べの案内、参加の呼びかけ
事 業 委 員 会：他の事業のバックアップ
広 報 委 員 会：会報誌１月号（合併号）の案内、今後の特集企画の案内
企 画 委 員 会：他の事業のフォロー
啓発渉外委員会：媽祖行列、啓発事業の案内、参加の呼びかけ
会員拡大委員会：新人事業の案内、参加の呼びかけ

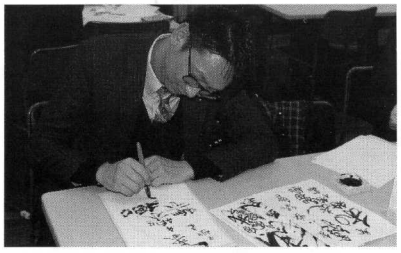
小休憩後、侍アーティスト進之助氏による講師講演が行われた。

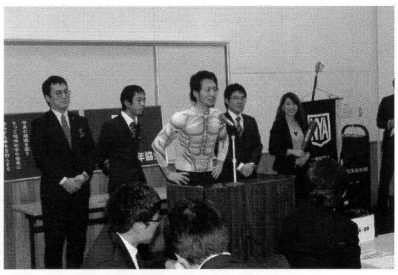
冒頭、進之助氏によるパフォーマンスが行われた。進之助氏は、６分間の音楽にのせて、太さが異なる筆を巧みに操りつつ、躍動感溢れる動きで、侍の絵と、我誓発（われ、ちかう、はっする）という３文字の漢字を１文字の創作漢字を、熱いエネルギーをイメージされながら、見事に書き上げられた。

その後、会員に対して、進之助氏による筆ペン講座が行われた。躍動感のある文字の書き方や漢字と漢字を組み合わせて創作漢字を作るテクニックについて実践を交えながら講義が行われた。会員は普段持つ機会が少ない筆ペンに悪戦苦闘しながらそれぞれ創作漢字を作っていた。最後に、会員各自が作成した創作漢字をそれぞれポストカードに清書し、講師講演は終了した。



最後に、新人事業に向けて、新人メンバーによるユニークなアピールがあり、会場内からは温かい歓声と拍手が送られて、例会は終了した。





二次懇親会は、割烹大判で盛大に行われ、今年度残りの事業の成功を誓い合った。（力武）

お部屋のトータルコーディネート
承ります！！
トータル インテリア
有限会社 くらふと
〒852-8143 長崎市川平町383-13
TEL 095-847-0280 FAX 095-849-5101
携帯 090-4480-1977
E-mail:i-kraft2012@ark.ocn.ne.jp
会員 近藤力丸

ダイワシロアリ
あなたの住まいを
白蟻から守ります。
白アリの駆除は任せて下さい。
スズメバチその他害虫駆除もお力になります
長崎市葉山1-44-6
0120-642-786（ムシニ ナヤム）
会員 大楠浩生

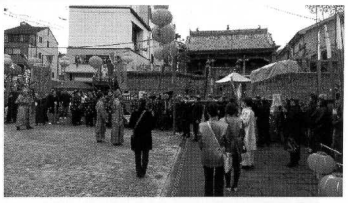
土地家屋調査士
岩村太基事務所
〒850-0871
長崎市麹屋町 5-7-1F
TEL/FAX 095-807-2585
会員 岩村太基
会員 窪井良介

HONDA
Honda Cars 長崎
長崎赤迫店
長崎市赤迫3丁目7番14号
TEL 095-856-3520
フリーダイヤル 0120-063520
携帯 080-9183-0153
お車のことはホンダのスズキまで
会員 鈴木秀規

鈴の屋
宴会飲み放題プラン 4000 円～
団体 35 名様まで可
本格炭火・新鮮な魚介類
豊富な一品料理のお店です
気軽にご連絡ください
浜口町 12-12 アメニティ山口 2F
TEL 095-894-9878
会員 原大樹

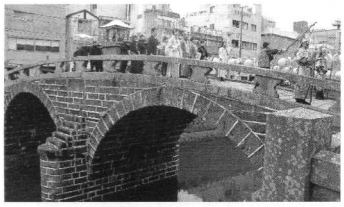
長崎ランタンフェスティバル媽祖行列参列

１月２９日（日）長崎ランタンフェスティバルのみどころの一つである「媽祖行列」が行われ、当会からは、主役である荷主役を宮口会長が、通訳（ 唐通事 ）役を大楠次年度副会長が大役を勤めた。また、２０名に及ぶ会員が船員役等で参加した。



この媽祖行列は、「菩薩（ぼさ）揚げ」という儀式で、江戸時代に長崎に入港した唐船から航海安全の神様である「媽祖」の像を降ろして唐寺に安置し、出航の際には「菩薩乗せ」という再び船に戻す儀式を再現している。

この日は孔子廟からスタート。媽祖像をみこしに乗せ、館内町の唐人屋敷、ランタンフェスティバルメイン会場の湊公園、観光通りアーケードを通って、興福寺へ。各メイン会場では、荷主である宮口会長から中国語による挨拶があり、その日本語訳を通訳の唐通事役である、大楠次年度副会長が行った。



１４時の出発から１７時過ぎの媽祖像の安置まで約４時間に及び、無事に大役を果たした。

翌週の２月５日（日）。未明の大雨も上がり、予想された雨天も、時折雲間から見える日差しの天気の中行われた媽祖行列の「菩薩乗せ」では、千里眼役で近藤次年度会長が勇壮な舞を披露した。１４時～１７時まで、小雨が混じるも好天に恵まれ、多くの観光客を魅了し、無事に大役を果たした。

両日の模様は各メディアで取り上げられ、全世界へ発信された。この媽祖行列は、長崎ネットワーク市民の会の皆さんによって行われている。今後も、この長崎ランタンフェスティバルを盛り上げていけるよう、当会としても協力を行っていきたい。

準備着々！新人事業に乞うご期待!!

２月１９日（日）に西山台小学校体育館で開催される新人事業「長崎青年協会大運動会～中年よ体脂肪を燃やせ！！～」に向けての準備も新人リーダーの松本康平君を中心に着々と進んでいる模様！？。

松本リーダーより「ただ運動するのではなく『体脂肪を燃やす』をコンセプトに頭脳も駆使してチームワークを築きながら会員同士の結束をより一層強めて頂ける素晴らしい企画となっていますので、ぜひとも参加を！！」と鼻息も荒い！

セキュリティ＆ビルメンテナンス
株式会社 STAR LIGHT
〒850-0037
長崎市金屋町 1-2 桜ビル 2F
TEL 095-823-6575
FAX 095-823-6578
会員　城　竜　次

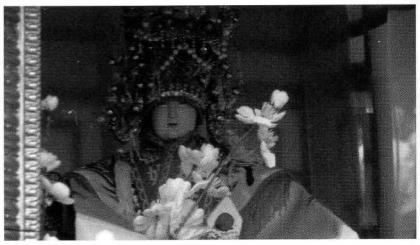
IIDA NAOKI LAW OFFICE 飯田直樹法律事務所
〒850-0037 長崎市金屋町 9-32-303
TEL 895-7661　FAX 895-7662
企業法務から離婚・相続まで
幅広く取り扱っております。
会員　飯　田　直　樹

MACHIつくり
〒851-2211 長崎市京泊 1-16-24
090-5385-3255
代表兼コミュニティーデザイナー
まちづくりに繋がるイベントや
事業を行い、長崎を盛り上げます！
会員　赤　木　幸　仁

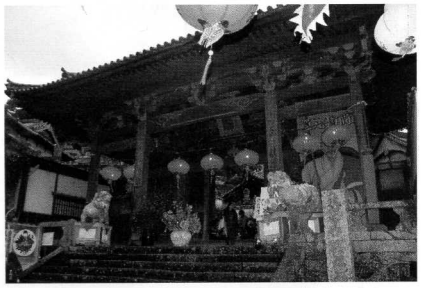
SET life
損保ジャパン日本興亜ひまわり生命代理店
メットライフ生命代理店・第一生命代理店
損害保険ジャパン日本興亜代理店
〒850-0043
長崎市八千代町 1-10 江川ビル 2F
TEL829-0337　FAX 821-6907
会員　久保田　英　斗

FURUKAWAMACHI SEIKOTSUIN
古川町整骨院
〒850-0851 長崎市古川町 6-31-1F
TEL 829-7878　FAX 827-6868
http://furukawamachi-seikotsuin.com/
会員　本　田　陽　祐

長崎ぶらり歴史紀行



媽祖像



興福寺の山門は県の重要文化財となっている

二代目の黙子如定（もくすにょじょう）が眼鏡橋を架けたと言われる

大雄宝殿と旧唐人屋敷門は国の重要文化財に指定されている。

【媽祖神とは】　媽祖は宋の時代（９６０年～）に実在した官吏の娘、黙娘が神となったものであるとされている。黙娘は建隆元年（９６０年）、福建省興化府の官吏林愿の７女として生まれた。幼少の頃から才気煥発で信仰心も篤かったが、１６歳の頃に神通力を得て村人の病を治すなどの奇跡を起こし「通賢霊女」と呼ばれ崇められた。しかし２８歳の時に父が海難に遭い行方知れずとなる。これに悲嘆した黙娘は旅立ち、その後、峨嵋山の山頂で仙人に誘われ神となったという伝承が伝わっている。媽祖は当初、航海など海に携わる事柄に利益があるとされ、福建省、潮州など中国南部の沿岸地方で特に信仰を集めていたが、時代が下るにつれ、次第に万物に利益がある神と考えられるようになり、崇められてきた。

【中国と長崎の繋がり】　１６世紀の後半、中国との貿易は九州各地で活発に行われれていた。しかし、１６３５年（寛永１２年）中国貿易も糸割符制（生糸の輸入方式）で統制されることとなり、長崎限定となる。その後、貿易は拡大していった。

長崎に来航する唐船は皆、船神・媽祖を船内に安置していた。唐寺と呼ばれた興福寺、福済寺、崇福寺は、この媽祖を祭る堂宇としてスタートしたものだった。

中国人はそれぞれ、出身地ごとに同郷団体「幇（はん）」を組織した。興福寺は三江幇（さんこうはん）、福済寺は泉漳幇（せんしょうはん）、崇福寺は福州幇（ふくしゅうはん）というように、それぞれの幇によって維持管理されていた。

このうち、興福寺は長崎で最も大きい山門を持つ黄檗宗の寺で、山門の朱色が目立ち「あか寺」として親しまれている。１６２０年（元和６年）に創建された、わが国における最初の唐寺です。開基は江西省出身の眞圓（しんえん）、寺地は元欧陽氏の別荘であった。

眞圓は１６３５年（寛永１２年）まで住職を務め、その後二代目には、眼鏡橋を架けたといわれる「黙子如定（もくすにじょう）」が住職に就く。

１６５４年（承応３年）三代目の逸燃性融（いつねんしょうゆう）は、新しい禅宗の日本への伝来を熱望し、福建省黄檗山万福寺の隠元禅師（当時６３歳）を招いた。

隠元は、日本に黄檗宗（おうばくしゅう）に代表される黄檗文化を伝え、日本と中国を結ぶ寺院として重要な役割を果たした。来日する１７年前の１６３７年（寛永１４年）１２月１１日には「島原の乱」が起こっていたこともあり、野火のように広がっていたキリシタン文化に代わって元禄文化に代表されるように、黄檗文化は日本の文化に大きな影響を与えたのである。隠元が日本に持ち込んだのは、インゲン豆・ごま豆腐・ナス・蓮根・もやし等の野菜や、煎茶は茶の木の植樹～釜炒りを伝授し、ともに茶を味わうことで人の輪が広がることを示した。また、４００字詰原稿用紙・明朝体文字・印鑑・書画・精進料理・薬等幅広く日本に持ち込まれた。

【唐通事】　中国語の通訳者で、１６０４年（慶長９年）に馮六（ひょうろく）が奉行に初めて任命された。その後、様々な通事の役が設けられ、通訳や貿易業務はもとより、中国人の私生活に関することまで深く関与したので「つうじ」の「じ」は阿蘭陀通詞と違って唐通事は「事」と書いたのである。唐通事はその後の長崎に重要な役割を担っていく。それは、１６７０年代の長崎の人口は約６万人だったが、その内、約１万人は中国人であったと言われる。この後、長崎に来航する唐船は一挙に増大し、唐人屋敷や唐船荷物専用の土蔵（新地）などが出来、人・物・文化が花開く時代へと入っていった。多くの唐人を統括していったのである。

約４００年前の長崎の人々の安全・幸福を願う歴史を、今の長崎青年協会も媽祖行列を通じて継承させて頂いていることに、とても誇り高く思うものである。

発行　一般社団法人　長崎青年協会
事務局　長崎市江戸町４－５　三瀬ビル３Ｆ
TEL 095-821-1625
FAX 095-823-7375
URL http://www.nya.or.jp
Mail info@nya.or.jp
印刷（有）タイピント印刷

居酒屋 ときえん
和洋様々なお料理をそろえております
〒852-8106 長崎市岩川町3-6 エンパイアビル1F
電話 FAX 095-894-4070
会員　里美　なみ子

florist WATANABE フローリスト わたなべ
〒852-8121 長崎市三川町 1313-2
TEL 845-8176 FAX 847-3016
お花の事なら何でもご相談ください
会員　望月　宣孝

Fusebar&snack anN
〒850-0904 長崎市船大工町 6-5
TEL 893-8121
会員　萩原　尚美

炭火サムギョプサル専門店 彩菜
〒850-0904
長崎市船大工町 3-19 七福ビル 1F
TEL&FAX 816-3131
長崎初のサムギョプサル専門店になります。その他にも色々な韓国料理があります。
会員　安慶名　史朗

聖教新聞梁川販売店
〒852-8013 長崎市梁川町 18-5
TEL 894-9550 FAX 894-9551
聖教新聞・公明新聞などの機関紙をお取扱しております
会員　酒井　賢一